

口頭発表 3/17(Fri) 9:15-10:45 **E** 英語セッション：全ての発表が英語による講演

\* 講演者は第1発表者のみ掲載しています。共同発表者は <[https://esj.ne.jp/meeting/abst/70/oral\\_index.html](https://esj.ne.jp/meeting/abst/70/oral_index.html)> にてご確認ください。

	<b>E</b> Room A	<b>E</b> Room B	Room C	Room D	Room E	Room F	Room G	Room H
Time	Biodiversity	Behavior	数理	動物生活史	動物と植物の相互関係	植物生理生態	進化	群落
9:15	A01-01 氾濫原水域群集形成において季節的に交代する景観要因と個別環境要因の相対的重要性 宇野 裕美 (コロラド州立大学, 北海道大学)	B01-01 翅の食い合いの進化要因の考察：クチキゴキブリコロニーのマイクロサテライト解析 大崎 遥花 (京都大学)	C01-01 生物集団における機能分化の進化：グループサイズと血縁度の影響 山内 淳 (京都大学)	D01-01 絶対単為生殖型ミジンコの休眠卵生産における幼若ホルモンの機能 丸岡 奈津美 (宇都宮大学)	E01-01 海藻と織毛虫の見過ごされた相互作用 堀之内 祐介 (北大・FSC・室蘭, 千葉大・海洋バイオ)	F01-01 近赤外放射を利用した葉面積指数の推定 久米 篤 (九州大学)	G01-01 野生集団における非自己認識型自家不和合性の進化動態解明に向けて 土松 隆志 (東京大学)	H01-01 散布体の特性からみた河川の先駆草本群落の特徴 枝澤 海里 (東京農工大・院・農)
9:30	A01-02 Comparison of tree species composition between two heath forest in southern part of Sarawak Nur safinas Binti JELANI (Nagoya University, Forest Department Sarawak)	B01-02 Antipathogenic defense by feces containing antibiotic-producing bacteria in a dampwood termite 中島 聖朗 (京都大学)	C01-02 協働して侵入する2種(2エージェント)の進行波速度 佐々木 顕 (総合研究大学院大学)	D01-02 都市緑地における夜間人工光がジョロウグモの空間分布に与える影響 布施 舜 (東京農工大学)	E01-02 海浜植物群落におけるハナバチ相の季節変動 肖 淑祺 (北海道大学)	F01-02 生命画像解析の前処理を効率化するパイプライン構築3D再構築のためのマスク画像生成 染野 大輝 (九州大学)	G01-02 なぜ世界中の都市でカタバミの葉は赤く進化しているのか？ 深野 祐也 (千葉大学)	H01-02 二次林の作業道路に遺存する草原性植物の多様性 丑丸 敦史 (神戸大学)
9:45	A01-03 Stoichiometry of leaf litter leachate affects autotrophic and heterotrophic microbial composition in freshwater food web Pei-chi HO (東北大学)	B01-03 Nest complexity reflects individual worker behavior of termites 菊池 顕生 (OIST)	C01-03 BVOCを介した植物間コミュニケーションの進化条件は何か？ 廣瀬 草太郎 (九州大学)	D01-03 カドフシアリの多型女王間でのトランスクリプトーム比較 宮崎 智史 (玉川大学)	E01-03 クズハキリバチはどんなクズ葉を切りまくる？ 吉田 風音 (近畿大・農)	F01-03 葉輪郭再構築への2次元-3次元協調的アプローチ 村田 英和 (九州大学)	G01-03 樹形構造がもたらす樹木個体内の遺伝的多様性の解明 富本 創 (九州大学)	H01-03 二次遷移系列上の階層構造の発達に伴う植物の出現状況 永末 るな (東京農工大学・院・農)
10:00	A01-04 Exploring the biotic drivers of ecological stability through a global collaborative network Samuel Robert Peter-James ROSS (OIST)	B01-04 Predicting infection using social and spatial network: testing the mechanism linking parasitism and sociability Zhihong XU (Kyoto Univ. WRC)	C01-04 格子モデル上での大型藻類生活環の進化 別所 和博 (埼玉医科大学)	D01-04 サイカブトにおける1齢期の成長が、その後の体サイズに与える影響 石東 広地 (九州大学)	E01-04 菜の花でウメへのミツバチ訪花を強化する 前田 太郎 (農研機構)	F01-04 林床植物の細根形質と種組成：森林内の局所的な環境勾配に沿った変異種数 佐久間 夕芽 (山形大学)	G01-04 進化の原動力である突然変異は野外でいかに生じるか？長寿命樹木のゲノム多様性分析 今井 亮介 (九大・理)	H01-04 寄生植物の採餌行動が草本群集における多種共存に与える効果 野宮 陸 (弘前大学)
10:15	A01-05 Stochastic dynamical viewpoints of biodiversity: MacArthur meets Whittaker 入谷 亮介 (RIKEN iTHEMS)	B01-05 サワガニ科に寄生するネンマクビルの吸着行動の研究：宿主の生死や吸着行動の傾向 百済 天斗 (近畿大学)	C01-05 個体群行列モデルから導かれる「個体・繁殖価・感度」の流れに潜む共通則 高田 壮則 (北海道大学)	D01-05 島嶼の河川におけるハゼ科ウキゴリ属魚類の食性 島田 健太郎 (新潟大佐渡セ臨海, 新潟大院自然研)	E01-05 オオバギ(トウダイグサ科)の上で繁殖する送粉者の個体群動態 鎌田 一徹 (京都大学 生態研)	F01-05 季節プライミング：ストレスに対する遺伝子発現応答における前歴環境の効果 工藤 洋 (京都大学)	G01-05 ブナ科の1年成り・2年成りはどちらが祖先形質なのか？ 夫婦石 千尋 (九州大学)	H01-05 シカ過採食下の山頂石灰岩草原の成れの果て植生：アメリカオニアザミの定着について 横川 昌史 (大阪市立自然史博物館)
10:30				D01-06 北アルプスにおけるニホンジカの冬季生息地利用 黒江 美紗子 (長野県環境保全研究所)		F01-06 春期の積雪がブナ林冠木の開芽時期の年変動に及ぼす影響 石田 清 (弘前大学)		H01-06 山陰の森林下層植生衰退と糞分析に基づくシカの食性 永松 大 (鳥取大学)

口頭発表 3/17(Fri) 10:45-12:00 **E** 英語セッション：全ての発表が英語による講演

\* 講演者は第1発表者のみ掲載しています。共同発表者は <[https://esj.ne.jp/meeting/abst/70/oral\\_index.html](https://esj.ne.jp/meeting/abst/70/oral_index.html)> にてご確認ください。

	<b>E</b> Room A	<b>E</b> Room B	Room C	Room D	Room E	Room F	Room G	Room H
Time	Ecosystem Management	Behavior	数理	動物繁殖	動物と植物の相互関係	植物生理生態	進化	群落
10:45	A01-06 高木種と低木種からなる立木間中央の斜面崩壊防防止力について 今若 舞 (兵庫県立大学)	B01-06 Stay longer in natal habitat or migration corridor: Size-dependent behaviors of masu salmon migrants before oceanic migration. 二村 凌 (北海道大学)	C01-06 局所密度依存の多重寄生を引き起こす寄生者についての個体群動態モデル 三木 健 (龍谷大学)		E01-06 タニウツギ花粉の大きさと棘に対する淘汰の送粉者グループ間差異：体表付着花粉の比較 長谷川 拓也 (東北大・院・生命科学)	F01-07 植物ホルモンからみる落葉樹における日長受容様式の多様性 大野 美涼 (岩手大学)	G01-06 ゲノムコンフリクトによる胚乳の進化 内海 邑 (日本大学)	H01-07 攪乱-多様性-生態系機能の関心の環境ストレス依存性：数理モデルによるアプローチ 瀧本 岳 (東大・農)
11:00	A01-07 "Variation of forest structure across latitudinal gradient using UAV LiDAR" Md Farhadur RAHMAN (Kyoto Univ.)	B01-07 Winter movement and behaviors of rehabilitated juvenile spotted seals ( <i>Phoca largha</i> ) tracking from the southern Sea of Okhotsk, Hokkaido Heping Li (Kyoto Univ.)	C01-07 微生物レドックスネットワークのトポロジーに依存した熱力学的効率 瀬戸 蘭美 (奈良女子大学)	D01-07 堅果類の豊凶がイノシシの受胎及び出産時期に及ぼす影響 大森 鑑能 (岐阜大学)	E01-07 色で便乗、香りで差別化？：他種との花形質の類似性が訪花者の誘引と分割に及ぼす影響 Saori Isabella MIYAZAKI (筑波大学大学院)	F01-08 季節環境への適応を可能にする植物のデンプン代謝モデルの統合解析 工藤 秀一 (九州大学)	G01-07 種分化の不死鳥仮説 山口 諒 (北海道大学,UBC)	H01-08 気候変動に対する日本の冷温帯林、暖温帯林の応答とその地域性 遠山 弘法 (国立環境研究所)
11:15	A01-08 Effects of alley-cropping and monoculture farming systems in oil palm plantations on butterflies diversity Mohamad ashraf Bin ABDUL MUTALIB (Hiroshima University)	B01-08 Conditional syndrome: boldness towards humans does not necessarily correlate with vigilance in marmots 内田 健太 (UCLA,The University of Tokyo)	C01-08 感染の波動は人々の活動性と流行の結合ダイナミクスによる：数理的研究 林 玲奈 (九州大学)	D01-08 コケを巣材に用いる森林性鳥類における繁殖生態：巣の天敵と防衛及び巣材の構成 田上 結大 (愛媛大学)	E01-08 血縁認識による花ディスプレイの利他的ふるまいの進化 冨塚 暖史 (東京都立大学)		G01-08 繁殖干渉が近縁種間の形質多様性に与える影響 森田 慶一 (総合研究大学院大学,理化学研究所)	H01-09 Associations between functional traits and sapling demography in warm temperate rain forests in Japan 飯田 佳子 (FFPRI)
11:30	A01-09 Stream water chemistry in forested watersheds and its variability on environmental factors and regions Nay Lin MAUNG (Kyoto University)	B01-09 Examining the ecological drivers and fitness benefits of cooperative breeding of birds through a study on Collared scops owl 江指 万里 (北海道大学)	C01-09 距離学習による細胞表現型空間の推定 岩政 公平 (九州大学)	D01-09 個体密度と景観連結性を推定する空間標識再捕獲法：シミュレーションによる不偏性評価 深澤 圭太 (国立環境研究所)	E01-09 雨滴散布植物の種子散布者としてのヤマコウラナメクジの有効性 北村 俊平 (石川県立大学)		G01-09 殻を失う進化を引き起こす生態的要因を探る 秋山 佳央 (三田国際学園)	
11:45	A01-10 Flow, habitat structure and benthic invertebrate immigration in open channel 斎藤 裕美 (東海大学)		C01-10 淡水と海水を行き来する魚の浸透圧調節を司る塩類細胞3タイプの最適組成 山口 幸 (東京女子大学)	D01-10 機械学習手法と統計モデルによる病害虫発生予測の比較 岸 茂樹 (農研機構)	E01-10 植食昆虫の食草決定と比成長率の関連：モンシロチョウ属とアゲハチョウ属における例 今野 浩太郎 (農研機構 生物研)		G01-10 チリメンカワニナにおける概日-概潮汐リズムの可塑性と遺伝子発現リズムの網羅的解析 横溝 匠 (千葉大・院・融合)	

口頭発表 3/17(Fri) 15:00-16:30 **E** 英語セッション：全ての発表が英語による講演

\* 講演者は第1発表者のみ掲載しています。共同発表者は <[https://esj.ne.jp/meeting/abst/70/oral\\_index.html](https://esj.ne.jp/meeting/abst/70/oral_index.html)> にてご確認ください。

	<b>E</b> Room A	<b>E</b> Room B	Room C	Room D	Room E	Room F	Room G	Room H
Time	Plant Ecophysiology	Conservation	数理	動物個体群	動物と植物の相互関係	生物多様性	進化	生態系管理
15:00	A02-01 Variation in functional traits of dominant tree species along an altitudinal gradient in a seasonally dry tropical forest in northern Thailand Prapawadee NUTIPRAPUN (Osaka City University)	B02-01 Impact of harmful algal bloom in 2021 off southeastern Hokkaido on rocky intertidal community 姚 遠 (北海道大学)	C02-01 格子ロジスティックモデル再考 佐藤 一憲 (静岡大学)	D02-01 N混合モデルを用いた津堅島のイモゾウムシの個体数推定と根絶防除事業への応用 池川 雄亮 (琉球産経 (株) , 沖縄防技センター, 琉球大学)	E02-01 ゲノム編集を用いてシロチョウ幼虫の食草適応機構を明らかにする 岡村 悠 (東京大学大学院, マックスプランク)	F02-01 火入れ管理される溶岩上草原の植物多様性 朝田 愛理 (神戸大学)	G02-01 同所的なメダカ属魚類間における表現型分化の遺伝基盤とゲノム分化 柿岡 諒 (琉球大学)	H02-01 クロヤツシロランの生息地からみる竹林環境のハビタットとしての有用性 山口 朝美 (東京都立大学)
15:15	A02-02 分子フェノロジーの緯度クラインが明らかにする休眠打破メカニズム 桑門 温子 (九州大学, 日本学術振興会)	B02-02 Investigating the relationship between species distribution and microclimate in a rock-dwelling lagomorph, the northern pika 崎山 智樹 (北海道大学)	C02-02 一般化線形モデルによるデータ解析と交互作用項：説明変数が多数ある場合 粕谷 英一 (大阪公立大学)	D02-02 オオセンチコガネの構造色のバリエーションを生み出す遺伝的基盤の探索 中谷 優介 (九州大学)	E02-02 植食性昆虫の高い多様性を許容するメカニズムの解明に向けて—予報— 難波 利幸 (大阪公立大学)	F02-02 出現種の生育環境区分構成からみた都市近郊林の植物相の50年間の変化 島田 和則 (森林総研多摩科学園)	G02-02 メダカの集団遺伝構造と自然淘汰の痕跡の検出 藤本 真悟 (琉球大学)	H02-02 根子岳の草原性植物の再生を目指すササ刈り実験の費用対効果：5年間の追跡 田中 健太 (筑波大・山岳セ)
15:30	A02-03 Interspecific variations in photoinhibition and recovery of photosystem II in woody species 辻 祥子 (京都大学)	B02-03 Quantifying extinction debts of Orchid species based on habitat loss and their spatial distribution in urban ecosystems 孫 熙 (横浜国立大学)	C02-03 EcoNet: 因果ネットワーク推定の新手法 鈴木 健大 (理研BRC)	D02-03 気温と台風どちらが重要？ツマベニチョウの個体群動態を制御する環境要因の地域的差異 中溝 航 (九州大学)	E02-03 コケ上で多様化したダニ類における寄生特異性および分布の種間比較 池田 颯香 (愛媛大学)	F02-03 津軽屏風山湖沼群の水生生植物相とその生息環境について_自然湖沼と人工湖との比較 成田 陸人 (弘前大学)	G02-03 協力的な進化を可能とする社会選択と集団選択の統合化された作用 田中 嘉成 (上智大学)	H02-03 海水浴場における飛砂防止対策が生物群集に与える影響 植野 晴子 (北海道大学)
15:45	A02-04 Heavy metal tolerance mechanisms in <i>Abies sachalinensis</i> growing at an old mine site 春間 俊克 (北海道大学)	B02-04 The effect of artificial light at night (ALAN) on understory plants: a 2-year experimental study in a rubber tree forest in China. 周 聡 (中国科学院・XTBG)	C02-04 琵琶湖におけるオオバナミズキンバイ対策：駆除後の巡回の必要性和評価 中井 克樹 (滋賀県立琵琶湖博物館)	D02-04 琵琶湖流入河川におけるトウヨシノボリの主根蓋骨を用いた年齢推定 太田 真人 (龍谷大里山研)	E02-04 地上-地下相互作用のネットワーク構造を捉える 橋本 一慶 (北海道大学)	F02-04 二次的接触を繰り返した古代湖のメダカ属魚類の集団構造 巖 美月 (琉球大学)	G02-04 創設様式が異なる真社会性ハチ目女王間での食道形態の種間比較 栗原 雄太 (玉川大学)	H02-04 河川生態系の瀬切れに対する短期的反応：野外操作実験による検証 中川 光 (国立土木研究所)
16:00	Plant Populatoin / Plant Community	Material Cycling	C02-05 東京の里山におけるアライグマ移入後のタヌキの食性 徐 ジュン (東京農工大学)	D02-05 核rDNA-ITS領域を対象とした環境DNA分析によるコイの交雑レベル推定 岡田 経太 (大阪大谷大学)		F02-05 西之島の噴火により失われた昆虫相と噴火後に出現した昆虫 岸本 年郎 (ふじのくに環境史ミ)	G02-05 動物における食性と生息地のシフトに関連する遺伝子コピー数の収斂進化 北野 潤 (国立遺伝学研究所)	H02-05 水位操作は湖沼生態系管理に有効か？：数理モデルによる解析 横溝 裕行 (国立環境研究所)
16:15	A02-05 Overlooked diversity of spontaneous plants in urban streetscapes in Oulu and Yokohama Katriina Mirka HEIKKINEN (横浜国立大学)	B02-05 Contrasting silicon dynamics between aboveground vegetation and soil along a secondary successional gradient in a cool-temperate deciduous forest Ryosuke NAKAMURA (Kyoto Univ.)	C02-06 山口市榎野川流域におけるヌートリアの環境利用と行動評価 渡辺 伸一 (リトルレオナルド社)	D02-06 ヤエヤマハラブチガエルの年齢構造と遺伝的構造の個体群比較 戸金 大 (慶應大学・生物学教室)	E02-05 山岳風衝地内のマイクロハビタットの違いがコケモモの栄養成長と繁殖に与える影響 杉本 健介 (日本大学大学院)	F02-06 Coral-microalgae coevolution: Models for the adaptive bleaching hypothesis 山田 一夫 (上智大学)	G02-06 対立遺伝子の類似度に対する選択勾配分析に基づいて頻度依存淘汰を推定する方法 佐藤 安弘 (チューリッヒ大学, 龍谷大学)	H02-06 湧水を用いた無施肥レンコン栽培：レガシー窒素の浄化と生物多様性保全機能 松崎 慎一郎 (国立環境研究所)

口頭発表 3/17(Fri) 16:30-18:00 **E** 英語セッション：全ての発表が英語による講演

\* 講演者は第1発表者のみ掲載しています。共同発表者は <[https://esj.ne.jp/meeting/abst/70/oral\\_index.html](https://esj.ne.jp/meeting/abst/70/oral_index.html)> にてご確認ください。

	<b>E</b> Room A	<b>E</b> Room B	Room C	Room D	Room E	Room F	Room G	Room H
<b>Time</b>	Plant Populatoin / Plant Community	Material Cycling	外来種	動物個体群	植物生活史	生物多様性	行動	生態系管理
16:30	A02-06 ボルネオ島低地熱帯林における維管束着生植物の宿主木種および基質利用様式 駒田 夏生 (京都大学)	B02-06 Variation in leaf phosphorus fractions along a soil phosphorus gradient in south-eastern Australia 辻井 悠希 (九州大学, マッコーリー大学, シドニー大学)	C02-07 山口県中部におけるヌートリアの蓄積脂肪間の関係および妊娠に与える影響について 飯田 悠太 (山口大学)		E02-06 相互移植実験によって明らかになったキツリフネのエコタイプ間での形質分化 近藤 輝留 (信州大学)	F02-07 なわばり性スズメダイが促す造礁サンゴの多種共存 畑 啓生 (愛媛大・院・理工)	G02-07 カニはなぜ横に移動するのか：異なる方向に移動する種間での逃避行動の比較 高倉 千紘 (長崎大学)	H02-07 紀伊山地における生態系サービスと自然資本に関する評価 山本 真人 (鈴鹿工業高等専門学校)
16:45	A02-07 Latitudinal gradient in the growth rates - crown area relationships across multiple forest plots in Japan Kyaw Kyaw HT00 (Kyoto Univeristy)	B02-07 海洋メソ動物プランクトンにおける群集平均栄養段階 (iTP) の時空間変異 石川 尚人 (海洋研究開発機構)	C02-08 奈良県吉野川における特定外来生物コクチバスの個体数推定と低密度管理に向けた研究 殿河 拓実 (近畿大学院)	D02-07 北海道東部に来遊するシャチ ( <i>Orcinus orca</i> ) のミトコンドリア全ゲノム解析 河合 真美 (北大院・環境科学)	E02-07 北八甲田山系における過去50年間でハイマツ優占域の上昇 木澤 遼 (横浜国立大学)	F02-08 植物プランクトン群集を対象とした動的結合ネットワークのアグリゲーション 笠原 剛樹 (東北大学)	G02-08 オオヨツハモガニのオスの最終脱皮前後における繁殖戦術の比較 深澤 藍子 (北海道大学)	
17:00	A02-08 Model of optimal shoot/root growth schedule in annual plant under limiting resource Bo-moon KIM (生態研、京都大学)	B02-08 熱帯雨林における地上部の多層構造と土壌動物が葉の分解に与える影響 花谷 周亮 (兵庫県立大学)	C02-09 愛知県矢作川における外来魚チャネルキャットフィッシュの全出現記録に基づく現状把握 吉田 誠 (国立環境研究所)	D02-08 ニホンザル小豆島個体群の遺伝構造—mtDNA多型から探る成立史 石塚 真太郎 (東邦大学, 京都大学, 日本学術振興会)	E02-08 チュウゴクザサ更新初期の個体群動態に影響を及ぼす生態学的要因 谷口 直 (東京都立大学)	F02-09 東北地方の離島における南方マダニ類の確認 小峰 浩隆 (山形大学)	G02-09 ホンヤドカリ <i>Pagurus filholi</i> の殻闘争は捕食リスクの影響を受けるのか？ 古賀 庸憲 (和歌山大学)	
17:15	A02-09 分断された多年生植物集団の遺伝的多様性に対する生活史サイクルの影響 都築 洋一 (北大・院・環境科学)	B02-09 Turnover rates of soil microbial communities along a degradation trajectory of logged-over Bornean tropical rain forests 姜 琳子 (京都大学)	C02-10 日本における外来種の潜在的な供給源としての飼鳥の籠拔 西田 澄子 (東京都市大学)	D02-09 エージェントモデルを用いた羊のエネルギー収支と草地劣化の予測 吉原 佑 (三重大学)	E02-09 侵食前線が規定する丘陵地微地形ニッチの進化—63木本種の系統シグナル解析より 宮岡 伶安 (横浜国立大学環境情報)	F02-10 仙台湾岸における海岸林造成による節足動物生息環境への影響 大越 陽 (北海道大学)	G02-10 ニホンウナギにおける3種類の逃避行動の解析：運動特性の比較及びその使い分け 山田 優弥 (長崎大学)	
17:30	A02-10 生物多様性-生産性関係を密度効果とサイズ効果に分解する 辰巳 晋一 (森林総研)	B02-10 山岳域における樹木細根の非構造化炭水化物の役割と根の機能特性 橋本 裕生 (信州大学)	C02-11 国立環境研究所における外来社会性昆虫防除システム構築と高度化 坂本 洋典 (国立環境研究所)	D02-10 ツキノワグマの生息地における岩石下営巣アリ類の資源量推定 三國 和輝 (名城大学大学院)	E02-10 ハクサンハタザオの低温耐性の標高間変異：F2集団の形質・ゲノムから探る遺伝的背景 吉田 直史 (東北大学)	F02-11 刈取り時期や方法が畦畔植生の種多様性に及ぼす影響 楠本 良延 (農研機構)	G02-11 ブラウントラウトの睡眠生態：いつ・どこで・どんな個体が眠るのか 古澤 千春 (北海道大学)	
17:45	A02-11 Population structure and allometry of multi-stemmed dwarf birches: <i>Betula ovalifolia</i> in Japan and <i>Betula fusca</i> in Mongolia Demidkhorloo BAYARSAIKHAN (Hokkaido Univ.)	B02-11 幅広い土壌リン傾度で見られるコナラの細根ホスファターゼ活性とその決定要因 水上 知佳 (京都大学・森林生態学)	C02-12 広域分布する侵略的外来種管理における地域的防除の課題と展望 池田 透 (北海道大学)	D02-11 The effects of an experimental integration on social behavior and structure in captive groups of large-billed crows ( <i>Corvus macrorhynchos</i> ). 水野 雄輝 (慶應義塾大学)	E02-11 遺伝学的手法を用いた西之島に生息するオヒシバの起源推定 前田 晃太郎 (筑波大学)	F02-12 森林景観モデルを用いた表層崩壊後の長期的な森林回復のシミュレーション評価 堀田 亘 (北海道大学)	G02-12 河川におけるGPS発信機で追跡したニホンイシガメの行動特性 加茂川 千枝 ((株)国土開発センター)	

口頭発表 3/18(Sat) 9:00-10:30 **E** 英語セッション：全ての発表が英語による講演

\* 講演者は第1発表者のみ掲載しています。共同発表者は <[https://esj.ne.jp/meeting/abst/70/oral\\_index.html](https://esj.ne.jp/meeting/abst/70/oral_index.html)>にてご確認ください。

	<b>E</b> Room A	<b>E</b> Room B	Room C	Room D	Room E	Room F	Room G	Room H
Time	Animal Ecology / Plant-Animal Interaction	Evolution	保全	動物群集	植物繁殖	菌類・微生物	行動	生態学教育・普及
9:00	A03-01 オオバウマノスズクサ亜属の送粉における萼筒表皮細胞の役割 李 俊男 (京大・生態研)	B03-01 Single cell Multiome reveals genetic mechanism of reproductive seasonality in sticklebacks Liang LIU (東京大学)	C03-01 海洋酸性化がヒザラガイ <i>Acanthopleura japonica</i> に及ぼす直接的・間接的影響 松本 凌 (東京海洋大学)	D03-01 千葉県における野生動物の分布がマダニの種組成に与える影響 森嶋 佳織 (森林総合研究所)	E03-01 送粉者不足による開花延長は種子生産を補償するの か？ 今村 咲稀 (奈良女子大学)	F03-01 ホソヘリカメムシ- Caballeronia共生系における病原性細菌による共生システムの横取り 石神 広太 (北海道大学,産総研)	G03-01 猛暑の砂漠で産卵するサバクトビバッタのメスは、交尾中のオスを日傘に使う 前野 浩太郎 (国際農研)	H03-01 英語が母国語でない研究者が直面する障壁の定量化 天野 達也 (クイーンズランド大学)
9:15	A03-02 Plants & poop: global diversity in endozoochorous seed dispersal research Harsh YADAV (Yokohama National University)	B03-02 メダカをモデルとした魚類の低温応答におけるトランスクリプトーム解析 中山 友哉 (名古屋大学)	C03-02 氾濫原依存性淡水魚アユモドキの集団形成史：全ゲノムデータによる再構築 井戸 啓太 (京大院理)	D03-02 季節変化が樹洞群集に与える影響は垂直層によって異なる 中村 彰宏 (中国科学院・XTBG)	E03-02 生態系の季節性が虫媒花植物の繁殖フェノロジーに与える効果 井田 崇 (奈良女子大学)	F03-02 イネ科植物内生菌が生葉と枯死葉の菌類群集に与える影響：無病微個体と病微個体の比較 秦野 悠貴 (同志社大学大学院)	G03-02 蝶類幼虫による「画一化されていない」枯葉擬態行動 小林 知里 (東北大学)	H03-02 日本学術振興会特別研究員の採択率は女性より男性の方が高い 京極 大助 (兵庫県博)
9:30	A03-03 Mechanisms of spatial segregation under highly asymmetric competition in juvenile salmonids: a field experiment 植村 洋亮 (北海道大学)	B03-03 Heteroplasmy originating from ancient hybridization in a Sulawesi medaka fish Handung NURYADI (TBRC, Ryukyus Univ.)	C03-03 食糞性コガネムシの腸内DNAを用いた哺乳類モニタリング手法の開発 吉田 直樹 (豊島区)	D03-03 温帯二次林におけるアリ類の樹幹利用 井上 哉太 (東京農工大学)	E03-03 分布末端における高山植物コケモモの交配システム変異 和久井 彬実 (富山県中央植物園)	F03-03 鉱山跡地に自生するアオキの根面微生物と内生菌の機能 土山 紘平 (筑波大学生命環境系)	G03-03 訪花生態を示すカザリショウジョウバエはどのようにして花を認識するのか？ 桂 宗広 (名古屋大学)	H03-03 科学可視化ツールとしてのサイエンティフィックイラストレーションの制作過程と効果 裘 夢雲 (日本大学 芸術研)
9:45	A03-04 Phylogeography of Siberian stone loach revealed by environmental DNA 八柳 哲 (北海道大学)	B03-04 Lineage divergence and fusion in a freshwater fish group within a single river system Ilham Vemandra UTAMA (TBRC, Ryukyus Univ.,MZB, PRBE, BRIN)	C03-04 屋行性キリギリスは夜間に人工光下で鳴くか？ 中岡 佳祐 (北大院・環境科学院)	D03-04 温泉環境に生息する地表性節足動物群集 大寺 真菜 (山形大学)	E03-04 花の晴雨反転運動：雨天時に下を向く仕組み 柴田 あかり (京都大学)	F03-04 ナラ枯れがコナラ枯死木の菌類群集構造および材分解に与える影響 木村 瑠月 (東北大学)	G03-04 寄生蜂アブラバチに寄生されたアブラムシに対する天敵捕食者ナミテントウの捕食行動 土井 具汰 (近畿大・農)	H03-04 樹木を利用した訪花昆虫多様性モニタリング：市民科学における展開を目指して 中村 祥子 (森林総研)
10:00	A03-05 状況依存性による生物群集指標の分類 大友 優里 (東北大学)	B03-05 First demonstration of genomic imprinting in termites 紙山 莉帆 (京都大学)	C03-05 田植え時期および輪作の有無による水生動物群集への影響と指標種の抽出 安野 翔 (埼玉県環科国セ)	D03-05 外来哺乳類の侵入は在来糞虫の種間競争関係を変化させる 明石 涼 (北海道大学生命科学院)	E03-05 バイケイソウ個体群間における開花同調性とその規定要因 伊藤 陽平 (北海道大学)	F03-05 大型有蹄類死体が森林土壌微生物の分解多機能性へもたらす効果 高木 惇司 (北海道大学)	G03-05 空中超音波フェーズドアレイによるアリの集団行動への非接触介入 久本 峻平 (明治大学)	H03-05 土壌由来の温室効果ガス削減をめざす市民科学プロジェクト「地球冷却微生物を探せ」 大久保 智司 (東北大学)
10:15			C03-06 オオムギリビングマルチが飛翔性昆虫の多様性と生態系サービスにもたらす影響 丸山 知晃 (東京大学)			F03-06 ツボカビに寄生された糸状シアノバクテリアの群体特性比較 石川 三四郎 (龍谷大学)		

口頭発表 3/18(Sat) 10:30-12:00 **E**英語セッション：全ての発表が英語による講演

\* 講演者は第1発表者のみ掲載しています。共同発表者は <[https://esj.ne.jp/meeting/abst/70/oral\\_index.html](https://esj.ne.jp/meeting/abst/70/oral_index.html)> にてご確認ください。

	<b>E</b> Room A	<b>E</b> Room B	Room C	Room D	Room E	Room F	Room G	Room H
Time	Animal Ecology / Plant-Animal Interaction	Evolution	保全	動物群集	植物繁殖	物質循環	行動	
10:30	A03-06 捕食-被食系モデルにおける 対捕食者行動の再考 小林 真二 (東京大学)	B03-06 The genetic correlation between developmental noise and phenotypic plasticity in <i>Drosophila</i> <i>simulans</i> 斉藤 京太 (千葉大学・院・融)	C03-07 絶滅危惧水生昆虫の再導入の 試行ーうまくいったり、いか なかつたり 成果と課題ー 苅部 治紀 (神奈川県立博物館)	D03-06 蜂の子として食べられるシ ダクロスズメバチの飼育巣 と自然巣の餌生物 佐賀 達矢 (筑波大学)	E03-06 実生由来のモウソウチク (イネ科)が半世紀以上の 栄養成長期を経て一斉開花 した 小林 慧人 (森林総研関西)	F03-07 北海道根釧地方における河 畔林の復元による土壌炭素 の変化要因 佐々木 章晴 (北海道大学)	G03-06 アリの巣構造と営巣速度は 女王の個体数によって変化 するの？ 青木 烈士 (近畿大・農)	
10:45	A03-07 re:MobidyC, a new platform for ecologists to build and run individual-based models Gael DUR (Shizuoka University)	B03-07 Disparate patterns of niche evolution in the diversification of the Neotropical cycad genus <i>Ceratozamia</i> (Zamiaceae) Jose Said GUTIERREZ-ORTEGA (RIKEN iTHEMS)	C03-08 野生絶滅種コシガヤホシク サの再導入地における送粉 ポテンシャルに関する検討 山田 竜輝 (筑波大学)	D03-07 栃木県奥日光地域における シカ柵による森林環境の違 いがコウモリの活動量に与 える影響 小山 浩亮 (筑波大学)	E03-07 モミ林内における散布種子群 への親集団の個体サイズと散 布距離に依存した雌雄繁殖寄 与 岩泉 正和 (森林総研林育せ九 州)	F03-08 針葉樹林における樹木の開 花を通じたリターフォール と養分の供給量 齊藤 真紀 (秋田県立大学・ 院)	G03-07 モグラ2種のみミズ採食行動 に及ぼす頭骨形態の影響、 特に因子間の多重共線性に ついて 横畑 泰志 (富山大学理学部)	
11:00	A03-08 Spared From Poaching and Natural Predation, Wild Boars Are Likely To Play The Role Of Dominant Forest Species In Peninsular Malaysia Ku noor khalidah Binti KU HALIM (Ku Noor Khalidah,Siti Wahdaniyah,Norizah Kamarudin,Alex M.Lechner,Badrul Azhar)	B03-08 The influence of geological dynamics on the tempos of colonization and speciation on a land-bridge island 青木 大輔 (森林総合研究所)	C03-09 保護地域の数と規模をどの ように決定すべきか？：3 0 b y 3 0のための経済理 論 謝 子晋 (慶應義塾大学)	D03-08 山麓から高山帯への資源補 償の季節性と高山性鳥類の 渡来時期 飯島 大智 (千葉大・院・融 合)	E03-08 新種として報告されたカワ ユエンレイソウの生息状況 に関する生態学的研究 早川 貴将 (北大・院・環境 科学)	F03-09 福島の節足動物群集におけ る造網性クモへの食物網を 介した放射性セシウムの移 行 角間 海七渡 (京都大学)	G03-08 機械学習による首輪カメラ 映像内の他個体検出：モウ コガゼルはいつ大群になる の？ 清水 太郎 (京都大学)	
11:15	A03-09 Application of quantitative environmental DNA metabarcoding for revealing seasonal fish assemblage dynamics in a regulated river system 宮園 誠二 (山口大学)	B03-09 ゲノム解析によるヒグマと 近縁種間の交雑履歴の推定 遠藤 優 (北海道大学,日本学 術振興会)	C03-10 ソーラーシェアリング(営農 型太陽光発電)による半自然 草原維持の可能性 中谷 美晴 (東京都立大学)	D03-09 沖縄島北部の老齢林におけ る哺乳類および鳥類による 樹洞利用の季節変化 東 哲平 (琉球大学)	E03-09 排水溝に留まりやすい種子 の種類と形質：人工水路を 用いた種子流動実験 勝原 光希 (岡山大学)	F03-10 みどりの食料システム戦略 は肥料資源量的に可能か？ 三島 慎一郎 (農研機構)	G03-09 東広島市鷹ノ巣山のブナ残 存林と低地ヒノキ林でのニ ホンジカの行動の比較 中林 雅 (広島大学)	
11:30		B03-10 Paternal genome elimination promotes altruism in viscous populations Thomas HITCHCOCK (iTHEMS, RIKEN)	C03-11 地理的に離れた国の保全活 動の社会的支持をいかに促 進するか？東アジアの渡り 鳥の事例 山浦 悠一 (森林総合研究所)	D03-10 流速にともなう種間相互作 用強度の変化が淡水生物群 集の安定性を左右する 西本 誠 (東京大学)	E03-10 樹木の個体内遺伝構造は莖 頂分裂組織での細胞挙動で 決まる 巖佐 庸 (九州大学,長野大学)		G03-10 草地でイノシシはどんな場 所を狙って掘り起こすの か？ 梅田 悠起 (近畿大・農)	
11:45			C03-12 人獣共通感染症への理解に よる自然への認識の変化 川田 真悠子 (横浜国立大学 大学院)	D03-11 時系列データを用いるデー タ駆動的なメカニズム推定 法の開発と検討 岩下 源 (東北大学)	E03-11 都市環境における植物形質 の進化 藤田 知弘 (国立環境研究所)			